

信長生誕「勝幡城」

しよばたじょう

第3号 平成26年2月28日発行

発行 特定非営利活動法人信長生誕を育む会

住所 〒496-8001

愛知県愛西市勝幡町塩畑 2525 番地

電話 080-8265-2288 (事務局)

信長生誕 480 年にあたって

理事長 恒川鋭夫

今年もご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

戦国の覇者、織田信長が、天文3年(1534年)5月28日に勝幡城で生まれてから、今年が480年になります。

当法人は、平素より、この歴史的事実を地域の宝として、町おこしにつなげようと考え、いろいろな活動を展開しているところであります。

一方、愛西市及び名古屋鉄道株式会社のご高配により、現在着々と進捗しております、名鉄津島線の勝幡駅周辺の整備工事及び勝幡駅駅舎の改良工事も、今年の3月27日の竣工を目前にして、仕上げの段階に入っております。



整備工事が進む勝幡駅前(2月11日)

勝幡駅周辺の整備工事及び勝幡駅駅舎の改良工事は、併せて総事業費 25 億円になんなんとする大型プロジェクトであります。中でも、斬新な着想のもと、昨年3月に完成した、両親に抱かれた信長の赤ちゃん銅像を一目見ようと、遠方より来られる方々も徐々に増えており、誠に喜ばしい限りであります。

一連の事業を鋭意推進されました関係各位に、深甚なる敬意を表したく存じます。

さて、最近では、もともとの「景観」観光に加えて、「歴史」観光、「産業」観光、さらには「体験」観光等のニーズも高まっているようで、ご当地が、信長生誕の史実を宝とした「歴史」観光の一つのメッカになれば、私の望外の幸せとするところであります。

このような近時の状況を踏まえながら、当法人の活動の一環として、一昨年、昨年と続けて、信長生誕480年を見据えたプレイベントを開催し、好評を博してまいりました。今年はいよいよ本番でありますので、過去2回の経験を活かして、当会の会員の皆様方のご負託に応えることはもとより、これから会員になっていただけるような方々にも、ご満足いただける内容にしたいと、趣向をこらしているところであります。

どうぞ、皆様方の郷土を愛する心に根差した、暖かいご支援をお願い申し上げる次第でございます。

会員になりませんか？

★会員の方には会報と勉強会案内をお届けします。すべての勉強会に参加できます。★

当会では常時、会員を募集しています。

正会員 年会費 1200円

法人会員 年会費 12000円

賛助会員(総会での議決権が不要な方)

年会費 3000円(1口当たり)

次のいずれかの方法でお申し込み下さい。

・手紙で事務局へ 〒496-8018

愛知県愛西市湊高町二ノ割 26-2

信長生誕を育む会事務局 水谷真人

・電話で事務局へ 080-8265-2288

・別途配布の申込用紙、申込ハガキで。

信長生誕勝幡城と町おこし

水谷真人

1.これは現(うつつ)か、幻か？

こんな夢を見た。

日光川河畔に、一部とはいえ、復元された勝幡城。立派なお屋敷風である。館内では、戦国時代に関する常設展と、当地域の歴史や観光・物産を紹介する特別展があり、興味深かった。

信長親子像を見ようと、旧津島上街道を勝幡駅へ歩くと、かなりの観光客に出会う。飲食店や土産物店が盛況のようだ。観光客との会話が弾み、街が随分明るくなった。

信長生誕勝幡城の史実を介し、当地の知名度も上がった。ネットによる特産品の販売も好調と聞く。うれしいことだ。

コミュニティバスも便利になった。観光客も利用できるので、三宅川沿いに矢合三十三観音、尾張国分寺史跡、荻須美術館方面を巡るか、逆方向に、信長と縁が深い津島の街と津島神社、佐屋の宿、木曾三川の治水遺構を見学するか……。

これは現か、幻か？

2.歴史への興味

今から20年ほど前、正月に津島の町を通りがかったら、臨時駐車場に奈良交通の観光バスが3、4台。有名な神社・仏閣の多い奈良から、津島神社へ初詣とは…。また数年前に知ったことであるが、私の小学校区で出土した「瀧高廃寺の瓦」が国立博物館に収蔵されていると言う。地元の歴史もすごいぞ、と認識を新たにしました。

しかし、これだけでこの記事を書くのは難儀なことだ。町おこし活動や観光行政とも無縁であったから。でも逆に、何にも捉われることなく、自由に考えられるかもしれない。町おこし・地域の発展を願う議論に発展すればと思う。もちろんこの記事は当法人の意見ではなく、一個人の考えである。

3.町おこしに何を期待するか？

各地で、観光による町おこし(町興し)が盛んである。心地良い言葉であるが、具体的には何が期待できるのであろうか？

一つは経済面。観光客を増やし、地元商店や

サービス業が潤い、それが地域経済全体に波及すること。もう一つは精神面。観光客との交流によって刺激を受け、町が活性化されること。

最近見聞きした例を見てみよう。

◆神奈川県、開成町。丹沢と箱根の山に囲まれた山紫水明の地であるが、観光とは無縁。農道に紫陽花を植えたら東京の人々に大受け。ちょっとしたことが素晴らしい観光資源となった。

◆岐阜県、墨俣一夜城。秀吉の才気を、必ずしも歴史に忠実であるとは言えないが、天守閣という見栄えする形にした。桜の季節、天守閣からの眺めは秀逸だ。

◆滋賀県、長浜市。レトロな建物群を利用して、オルゴールやガラス工芸品など、長浜に縁があるかどうか分からないが、ショッピング熱にうまく乗って大盛況。

自然や既存の街並みに観光客が好むように手を加えたり、言葉はよくないが、注目を集めるハコモノを作ったりした成果である。

4.信長か、自分か？

わが法人の定款の目的の中には、「まちづくり」と「勝幡城の復元」事業がある。相当ハードルが高い。活動の果実を得るために、何を念頭に置くべきか、考えてみたい。

① 採算の裏打ちがあること

どんな事業をするにも、設備や環境整備に初期費用が要る。さらに維持・管理していくための費用が継続的に必要だ。我々の会費で賄える額ではない。だからと言って、自治体も企業も、高額な寄付は難しいと聞く。事業の実現は容易ではない。

② 地元に関わってもらえること

戦国の覇者、織田信長は、天文3年勝幡城で生まれた。この「信長生誕勝幡城」の史実は、地元にとって素晴らしいことである。しかし、いまひとつ地元との一体感が薄いようにも感じる。

我々が住んでいるこの地が、幼少の信長にこんな感性と能力を育んだ。勝幡城で生まれ育ったからこそ、のちに戦国の革命児とも評される信長という人物の礎ができた。そんなことを考えることによって、信長公は我々との距離感を縮める。信長公を育んだ同じ地に暮らしていることが、誇らしく

思えてくる。

そうなってこそ、積極的な行動ができる。人を迎える側に「おもてなし」の気持ちが高まってくる。

うつけ囃子、勉強会、会報などがお役に立てばと思う。

③ 果実の受け皿があること

観光客が集まれば飲食とお土産はつきものである。地元でそれを受け止めることができなければ、人とお金は素通りである。今から商店街を興す気力があるだろうか？ 当地を知ってもらえるだけで十分と言うのなら、話は別だが…。

④ 顧客の視点で考えること

観光の目的は多様化している。かつての景勝地や温泉地を訪れることから、興味のある歴史や産業を学んだり、ウインドサーフィンなどのスポーツ、田植えや収穫体験まで広がっている。

信長生誕勝幡城の史実は魅力的である。が、観光客は歴史愛好家だけではない。多数派は、ちょっと歴史に関心を持ち、他の興味を引く場所も見て、美味しい物品を探す人たちであろう。名古屋市と東海三県を中心とした方々であり、マイカーだけでなく、ウォーキングを兼ねたり、公共交通機関の利用も多いことだろう。

そんな顧客のニーズは何か？ 一日充実した観光を計画するために役立つ自治体の枠を超えた広域の案内が欲しい。変化に富んだモデルコースもあるとよい。さらに広く時空を超えて興味を誘うことができる内容であれば、リピーターになってもらえる。顧客の望む現地の案内や、交通インフラの整備も重要だ。

顧客のお目当ては信長だけではない。自分が満足できることが第一だ。顧客満足度を上げることが大事である。

⑤ 適切な情報発信をすること

最近の情報伝達手段の発達が目覚ましい。観光誘客＝パンフレット作成、では不十分だ。情報を正確に伝えることはもちろんであるが、マスコミ、ネット、SNSにおいて、耳目を集め、話題に上がる工夫が必要であろう。

5.結論

「信長生誕勝幡城」は素晴らしい史実である。これが史実で終わるか、町おこしの資源となるかは、

地元の熱意と顧客ニーズの充足にかかっている。本法人の役割は、そのお手伝いであろうか。

信長山明喜寺

鈴木正英

「信長」を山号に持つ寺があります。

文明3年(1471年)創立の、現在は真宗大谷派に属する寺院です。広い境内に建つ本堂は、入母屋造りの切妻を正面に向けて、堂々としています。



信長山明喜寺の山門

所在地は、稲沢市平和町の、合併前の住所では、大字新開字丸淵上 72。

平和町史によれば、寺の由緒は次の通りです。

『尾張徇行記によれば、京都仏光寺の弟子了善 蓮如聖人の弟子となり丸淵村に一字を造立し法蔵坊という。五代の僧了念は織田信長の弟なり。文禄3年(1594)54歳にて没す。信長 この寺に田園多く附せられ、寺産、朱章等慶長年中までありしが今は紛失す。

この因縁を以て信長山明喜寺と称す。』

現在の明喜寺住職は、大野賢導先生で、稲沢市祖父江町の丸甲小学校時代の恩師です。

信長の故里によせて

歴史作家 服部 徹

信長 49 年の生涯からは、どの断面を切っても、革新的にして、前例に拘らない発想と行動をする武将の姿が窺えます。

今年は、信長生誕 480 年ですね。戦国に燦然と輝く信長の故里、勝幡の地と城は、正に文化財そのものでしょう。

扱(さて)、幼名 吉法師と呼ばれた信長が何歳まで勝幡城に居たかは、特に愛西市、稲沢市にお住いの方には、大いに気にかかる事だと思いません。

この点につきまして、昨年 6 月、稲沢市役所平和支所にて、講演致しましたが、機会を見て、著作などを通して、改めて、分かり易く説明させていただこうと考えております。

歴史は、「勝者がつくる」と言われます。

特に、戦国時代の真相は、260 年以上安定した政治が続いた江戸期に於いて、戦国の勝者によって、自分の都合の良い様につくりあげられた一面があります。

為に、信長の生誕地が、那古野でも古渡でもなく勝幡であると定説化するのに、皆様の長い地道な研究と啓蒙が必要となった訳でした。



昨年 6 月 2 日の講演会の様子

一方、歴史は時として、傍役に光をあてると、真相に近付く場合もあります。

拙著、「信長の鷹」(風媒社)は、津島出身の服部小平太を信長の傍役として登場させました。

5 月刊行予定の、「信長の残照」(風媒社)は、傍役として、知多、大野(常滑市)の豪族、佐治八郎、与九郎、二代を登場させ、信長、秀吉、家康、の愛知三大英傑の一端を浮かび上がらせようと筆をとりました。

信長生誕を育む会のご活躍を祈念します。

名古屋大須の萬松寺(ばんしょうじ)

身代り不動明王の”身代り餅”由来

広瀬一行

1570年、織田信長公は、越前の朝倉氏を攻略した帰り道、琵琶湖北で鉄砲の名手杉田善住坊に狙い撃ちされた。その二発の命中弾は、たまたま胸にしまっていた干餅(昔の保存食で非常に固い餅)に当たり、かすり傷のみで難を逃れた。

この干餅は名古屋大須の萬松寺の和尚からもらい受けたもので、織田信長公が日頃より信心深かった不動明王様のご加護によるものと言い伝わるようになりました。

そして、およそ四十年後、徳川家康によって天下統一がされ、尾張では、加藤清正等によって名古屋城築城が進められていました。清正は信長公を非常に崇拝していた人物。築城の際、宿をとっていた萬松寺で、信長公の命を救った”干餅”の話を聞き、萬松寺のお不動様を『身代り不動』と名付け毎日のように礼拝されました。それ以降、門前の茶屋で売っていた餅までも「身代り餅」と称され災難厄除けにと賞味されました。『萬松 寺の干餅を信長公が朝倉攻めに持参していなかったら、1570年に信長公は死んでいた！！』

毎月二十八日のお不動さまの縁日の18時から、信長公の窮地を救った”干餅”にちなんだ「身代り餅つき」が行われます。きなこがたっぷりまぶされたつきたての杵つき餅が、参拝者に配布されます。以上、はくび通信(萬松寺新聞)5月号より。

『信長公記』片手に持って

宮田浩臣

45歳の頃です。ある日、あまりなじみのない日経新聞をたまたま読んでいましたら、投稿文が目にとまりました。それはライフワークとして、豊臣秀吉の生涯のゆかりの城址、古戦場、神社、仏閣等を写真に納めることを楽しんでいる、とのことでした。まだ文禄・慶長の役のために韓国へ行かなくてはならないと、載っていました。雄大なロマンを感じました。

その投稿文が引き金となり、小生の恋してやまない〔織田信長公〕の行跡を、ライフワークとして追ってみようと思えました。とりあえず尾張の国より始めました。

下津城址・勝幡城址・清州城址と非常にすいすいとカメラに納めていきました。それを現像、焼き付けして説明文を付け、写真帳に整理していくときの喜びは心が躍りました。小生もこれで信長公に一步一步近づきつつあるかに思えて……。それが年を経て、1582年(天正10年)の秀吉の備中高松城の水攻め、滝川一益の上州厩橋城での関東経営、柴田勝家の越中魚津城攻め、明智光秀の愛宕山参詣、そして本能寺跡を廻ることとなりました。廻り始めて間もなく、容易でないことに気付きました。

知立市の重原城址を探しているとき、地元の人に尋ねました。その方曰く、「この辺に城址はありません」とのこと。普通、人の城址のイメージは、堀と石垣が無ければならないようです。小生は信長の時代、すなわち中世の城跡を探しております。石碑があれば十分なのです。尋ねた人の家の横の小川の対岸にありました。何時も見えてらっしゃるはずです。

伊勢の阿坂城址の時は、海拔250m程の山城と判っていましたが、登り口がわかりません。登り口を見つけ？登り始めました。すれ違う人もいません。不安でした。おまけに細い道の真ん中に蛇がとぐろを巻いていました。この世で蛇ぐらい怖いものはありません。「蛇さん、一寸そこをどいてくれませんか」と、祈る気持ちで問いかけてみました。なんと伝わりました。姿を消してくれました。(良い

蛇でよかった。) 登り詰めると石碑、案内板、本丸跡がありました。見晴らしもよかった。本丸跡は平らで芝生が敷き詰められていました。感動の一時でした。



伊勢の阿坂城址

その後、効率を考えて、角川日本古典文庫の太田牛一著『信長公記』を幾度か読みました。古文でした。候文でした。主語がわかりません。合戦の場面では人物名が敵方か味方か判別できませんでした。それでも苦心惨澹、読んでいくうち、少しずつわかるようになりました。本文より城跡、古戦場、神社、仏閣、砦等をほとんど全て抜き出し、その日の行程に従い廻る順序を決めて、訪ねることにしました。

小生の小旅行が始まりました。目的地へたどり着くと、時には同好の方との(出会い)がありました。共通の趣味の持ち主同志です。すぐに気心が通じました。情報の交換ができました。その後も交遊が続いている方も多々あります。

美濃の徳山城は、徳山ダム建設によりダム湖に沈んでしまい、また、未だ手付かずの状態です。伊賀の丸山城跡はほとんど手付かずの状態です。削平地、空堀、土塁、郭、本丸跡など往時を偲ぶことのできる城跡も残っています。一級の史跡と思っております。

『信長の生誕を育む会』は誠にもって貴重なる活動であり、崇高なる保全行為と確信しております。役員の方々・会員諸兄に感謝しております。今後ともよろしく願い申し上げます。

会務報告のページ

会員名簿の発行

やっと会員名簿が完成しました。配布不要とお答えになった方以外のすべての会員の皆様に、この会報3号と同封してお送りさせていただきます。会員相互の交流にお役立てください。

なお、大切な個人情報ですので、お互いの会員を知るための資料としての用途に限り、会員外への開示はしないようにお願いします。

2号に同封しました「会員名簿の作成と配布についての回答書」が未着の方が多数おみえですが、今回は、お名前だけ掲載しております。

また、回答書を寄せられた中に、3名の方が、氏名の記入がありませんでした。この方たちも回答書が未着として、氏名のみ掲載になります。せっかくすべての項目の記載のご希望がありながら、残念です。消印が津島局2通と弥富局1通ですので、お気付きの方は連絡をお願いします。

回答書から集計した活動の興味の対象は、次の通りです。

A 歴史	回答者の	83%
B イベント	〃	47%
C 町おこし	〃	45%
D 組織の運営	〃	19%

今後の活動の参考にさせていただきます。

会の運営に携わってみませんか？

こんな方を募集しています、

- ・イベントの企画や運営に興味がある方
- ・会報の編集や発行に興味がある方
- ・ホームページの作成やパソコンの扱いに慣れた方

- ・事務局で会の運営を支えてみたい方

ご希望の方は、事務局(1ページ右下の囲み記事)までご連絡ください。

勉強会

10月 勝幡城付近を歩く

平成25年10月13日(日)、愛西市教育委員会の石田泰弘さんを講師として、「勝幡城址付近を歩く」という勉強会が行われました。

勝幡駅前に設置された勝幡城の模型(奈良大学、千田教授監修)を見ながら、当時の勝幡城の構成の解説をいただいた後、ほぼ前号会報(2号)4ページのルートを廻りました。

会員相互の会話が弾み、地元会員の説明も加え、現地見学ならではの楽しい勉強会でした。

【参加者は、会員外の3名を含めて24名】



勝幡城址石碑の前で

そこで聞いたエピソードです。

◆庄屋を務めた梶浦家のお庭「楠下園」

庭に植わっていた大きな楠に由来。明治から昭和の文豪、島崎藤村や室生犀星も集ったことがあるという。

◆荻須高德画伯の勝幡との縁

フランスで制作活動をしていた荻須画伯が、第二次世界大戦のために帰国して、妹さんが嫁いでいた勝幡にしばらく滞在。その当時小学生であった会員曰く、「校外写生大会で通りがかったおじさんから手直しを教わった。きっと荻須さんのはずだ。私は荻須画伯の弟子だ」と。

◆勝幡神社の「おこわ祭」

おこわご飯を境内に立てかけた板に投げつけ、餅状に固め、それを食べれば無病息災とのこと。

12月 信長とは何者か？

平成25年12月15日(日)、愛西市勝幡地域防災コミュニティセンターにおいて、当法人の恒川鋭夫理事長を講師として、「信長は何者か？」という演題で、講演会(勉強会)が開かれました。

信長生誕の事実、信長の革新性、本能寺の変の謎を詳述し、信長は「すぐれて人間的な人間である」と結論付けられました。

信長生誕勝幡城の地元での開催とあって関心が高く、中学生や先生の参加もあり、多数の聴講者がありました。

【参加者は会員18名、会員外57名の合計75名】

信長、津島祭の山車と共演

平成25年9月7日(土)、海部津島JC主催の「地域活性！楽市楽座」が津島市天王川公園で開催されました。愛知県内各地の青年会議所会員がおいでになるということで、「信長生誕勝幡城」をアピールするには絶好のチャンス。当会のうつけ隊も出演しました。

開演の挨拶が済むと、軽やかにうつけ囃子とうつけ太鼓が会場を盛り上げました。

そして、クライマックスです。3台の山車がお囃子にのって会場を進むのに合わせ、舞台ではうつけ隊の信長の舞、「敦盛」が厳かに舞われました。素晴らしいシーンでしたが、予想しないコラボにカメラアングルが追い付かず、ここに紹介できないのは残念です。

稲沢文化財愛護少年団が活躍

稲沢市には、小学校区単位に、「文化財愛護少年団」が活躍しています。史跡や昔からの習俗などを学んだり、体験したりしています。平成25年12月8日(日)に、稲沢市小正地区ふれあい講演会において、その成果の研究発表会がありました。次の世代を担う若い歴史愛好家を育む素晴らしい活動です。来年度のご参観をお勧めします。

行事計画のページ

勉強会のお知らせ

3月 歴史よもやま話

日時 平成26年3月16日(日) 10時～12時

場所 愛西市勝幡地域防災コミュニティセンター

参加費 300円

内容 信長や歴史などについて、当日お願いする何人かの話題提供者から口火を切っていただき、それを出発点として話題を広めたり、議論を深めたりしていきます。

ご案内 この書面が最終案内です。あらためて案内状は送ρίませんので、お間違いのないよう、よろしくお願ひします。

わずかではありますが、茶菓も用意する予定です。今回同封しました会員名簿もご持参ください。きっと楽しい集いになると思います。

また、話題として、おもしろい話、自慢したい話、失敗談、一緒に何かをやろうといった提案など、当日までに考えておいていただきたいと思います。

6月 尾張出身の戦国武将／仮題

日時 平成26年6月8日(日) 15時～

(総会に続いて)

場所 稲沢市役所平和支所講堂

内容 詳細は未定です。

ご案内 開催の2～3週間前に、総会のご案内と併せて差し上げます。

総会のお知らせ

日時 平成26年6月8日(日) 13時30分～

場所 稲沢市役所平和支所講堂

ご案内 開催の2～3週間前に、あらためて差し上げます。

信長生誕 480 年祭は

5 月 18 日(日)に決定！

会の運営やイベントに興味をお持ちの 12 名の会員の方々に生誕祭実行委員を委嘱し、恒川理事長を委員長とする実行委員会を 12 月に立ち上げました。

現在は、会場の選定、演目の検討、後援・協賛のお願い、効果的な広報など、順次進めているところです。

これらの点に関するアイデアをお持ちの方は、是非、委員長あるいは事務局までご連絡いただきたいと思えます。

また、まつり前日の会場の設営、当日の運営、後片付けには、多くの人手が必要と考えられます。会員の皆さまには、ご協力をお願いすることが多々あると思えます。よろしく願い申し上げます。

うつけ隊の紹介

信長生誕を育む会では、「信長生誕勝幡城」の史実を世に広める目的で、会員有志による「うつけ隊」を結成しています。



各地のイベントに招かれ、軽やかなうつけ囃子と力強いうつけ太鼓を披露して、好評を得ています。最近では、信長による荘厳な舞いも加わりました。さらに、語りや寸劇にも挑戦する予定です。

応援をお願いします。

提案と議論の広場

新年度会費納入のご案内

新年度（平成 26 年度）の会費を、3 月 1 日から受け付け致します。

金額は、1 ページ右下の囲み記事の通りです。銀行口座への振込に加え、3 月 16 日の勉強会などの受付でも納入していただけます。

なお、昨年 11 月 25 日付の「会費納入のお願い」を送らせていただきました方で、その後も平成 25 年度会費が未納になっておられる方は、併せて 2 ヶ年分の納入をお願いします。

■振込先 三菱東京 UFJ 銀行稲沢支店
普通0087501

特定非営利活動法人 信長生誕を育む会
理事長 恒川鋭夫

※振込手数料は、ご負担をお願いします。

★★★ 会員の方には会報と勉強会案内をお届けします。すべての勉強会に参加できます。お知り合いの方への入会もお勧めください。★★★

会員証の変更について

前号で提案しましたように、会員証を名刺サイズにし、会費の領収書を兼ねて、毎年発行する方式に変更する検討を進めております。遅れましたが、来年度から運用する予定ですので、いましばらくお待ちください。

編集後記

今回も発行が 1 ヶ月遅れてしまいました。お詫び申し上げます。

会員の皆さんからいろんな情報が寄せられるようになりました。身近な、生きた会報を目指していますので、非常にありがたいことです。

次号は、3 月の勉強会を特集できればと思います。意外な情報に接することによって、自らの興味の幅が広がるのではないかと、期待しております。
(事務局長 水谷真人)